

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和4年1月17日

*()の数字は実数。利用者数22、回答数22 *斜線欄は保護者アンケートに無い項目。 事業所名: 放課後等デイサービス ひみつきち

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	勉強、工作、運動遊び、クールダウン等、構造化したスペースで子供達の状況に合わせて訓練室を選択しています。	(はい 22) ・広くて綺麗です。飾りなども見えて楽しいです。 ・伸び伸び運動出来ている。	今後も広いスペースを活かして、子供達の成長過程に合わせた様々な活動ができるように更に工夫をしていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準に応じ、適切に配置しています。長期休みには子供達と年代の近い学生アルバイトも受入れ、より充実した職員体制をとっています。	(はい 20、わからない 2) ・どのスタッフさんもとて良くしてくださいませ。	人員配置については、年度始めの通信、ホームページにて公表しております。今年度はホームページのリニューアルに合わせ、職員をより近く感じてもらえるような職員紹介を目指します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関上り口のステップについては、手すりを設置、活動スペースはバリアフリー化をしています。室内も特性、活動により構造化しています。	(はい 20、わからない 2)	それぞれの障害特性に応じた情報伝達を探りながら、よりわかりやすく、安心して過ごせるように環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	活動の終わりには、利用者による掃除の時間を設け、退所後、開所前には職員が清掃、消毒を行っています。清潔な生活空間に加えて、子供達が来所を楽しみに出来る装飾や仕掛けも取り入れながら、モチベーションの上がる空間を考えています。	(はい 22) ・いつも工夫して楽しませてもらっています。	今後も清潔で雰囲気が温かく、一人一人が安心して自分を表現できる特別な場所、ひみつきちとなるように職員で意見を出し合い、作り上げていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員全員で、前日の振り返りを行った後、当日の利用者について前回の様子、保護者からの意見等情報共有を行っています。支援の仕方について、疑問や不安を一人で抱える事がないように確認し合い、一貫した関わりが持てるように検討する時間を設けています。PDCAサイクルは月間計画に基づきモニタリング会議を実施、職員の意見を擦り合わせ、目標を決定しています。	/	今後も職員間のコミュニケーションを大切に、支援に関してもより良いチームワークを目指します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は受けていませんが、他施設からの見学等は受入れをしています。	/	今後も広く受入れを行い、様々なご意見を運営に活かしていきたいと思えます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	施設全体のスキルアップを目指し、職員個々の目標設定を行い、外部の研修に参加したり、動画を活用した研修を適宜行っています。	/	職員個々の目標設定を行い、サービスの向上を目指します。またその時々で求められる内容を聞き取り、研修に取り入れていきます。
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子供達と信頼関係を築き、自己を発揮してもらう事で、成長と共に変化するニーズの把握に努めています。保護者の方とは連絡帳の活用と送迎時のご家庭や学校との直接対話を全職員が積極的に行い、些細な情報も共有、課題として書面で整理しています。	/	保護者の方との日々の対話を大切に、面談も実施、他機関とも情報を共有し、放課後等デイサービスとして出来る事を検討した上で計画を行っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動では、興味に合わせた知識や技能を伸ばす事を目指し、集団活動では自己表現力、折り合う力、想像する力を身に付け、そして人との関わりを楽しみ、社会の一員として生活する将来の姿を想像しながら計画を作成しています。	(はい 21、どちらも 1)	ひみつきちの特色を個々の計画に活かして、学校やご家庭など、他では経験できない多年齢の友達との関わりや様々な体験を計画に反映していけるようにします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用頻度や発達に応じて、優先順位を考えながら項目を設定し、一歩踏み出して、自信が成長に繋がる内容にしたいと考えています。		今後もサービス計画を理解、協力していただけるものと出来るように必要な項目、支援内容を考えます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援について必要な取組みは職員全員に周知、一貫性のある対応ができるようにしています。	(はい 22)	今後も支援に必要な情報や支援内容に変更がある場合には、その都度職員間で共有できるようにします。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	日々の活動や長期休みのプログラムは、子供達にとって実りある経験となるように常に新鮮なメニューを職員全員で企画、準備しています。		子供達の好みや特性を理解し、楽しみながら様々な経験を重ねられるように工夫していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	現在、休日の開所は行っていません。イベントを開催する時には例外的に開所しています。学校休業日には一定のルールで受入れを行っています。		利用者、職員にとっても家族で過ごす時間を確保する事が大切だと考えており、今後も休日の開所予定はありません。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	学期中には、振替休日や全員が早く帰って来られる日を中心に公園へ出かけたり、外食、クッキング、工作といった取り組みを子供達の意見を聞きながら考えています。長期休みには、早目に計画を立て、利用者が楽しみに長期休みを迎えられるように常に新しいイベントを取り入れながら、意欲的に参加できるように工夫しています。	(はい 21、わからない 1) ・毎回制作や外出、クッキングなどいろんな取り組みをさせています。 ・長期休みのイベントはすごく助かります。子どもも楽しみにしています。	今後も利用者の流行りや望みを探りながら、刺激的で心に残る活動ができるように取り組んでいきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	予定や送迎確認、利用者の日々の様子から考えられる事などを意見を出し合い、最善の支援に当たれるように職員全員で集まる時間を大切にしています。		今後も職員全員が同じ意識で支援にあたり、チームワーク良く1日の活動が進められるように改善を重ねていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後には、送迎と清掃、翌日の準備があるため、必要な情報は引継ぎノートに書き留めたり、翌日に情報共有できるような時間を設けています。職員間で話しやすい雰囲気作りも大切にしています。		今後も職員間のやりとりを活発に行い、様々な情報を共有し、支援に活かしていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日保護者との連絡帳で支援の報告を行い、それを記録として保存しています。また定期的に課題を整理し、計画の見直しに活用しています。		今後も継続して、記録、課題のまとめ、見直しを行っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	月間計画に基づき氷山モデルのブレインストーミング会議を行い、スタッフの意見を擦り合わせ見直しを行っています。		長期休み中にはまとまった会議時間が作りづらいので、その点を解消できる方法を考えます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者が、会議予定に合わせて職員の意見を集約し、ふさわしい者が代表してその都度参加するようにしています。	会議の内容は全職員間で周知徹底し、日々の支援に活かしていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は、該当する利用者がありません。	該当する利用者さんの利用が始まった場合、利用者さんの利益を最優先に適切な機関と連携していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在は、該当する利用者がありません。	該当する利用者さんの利用が始まった場合、利用者さんの利益を最優先に適切な機関と連携していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	支援会議や送迎時の引継ぎの際、情報交換したり、必要な際には担当教員に直接連絡を行っています。	支援についてどのような連携ができるか考えながら、様々な情報を繋げられるようにしていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	担当の相談支援事業所を通し、情報提供を行っています。	今後も必要な情報があれば、相談支援事業所に報告、セルフプランの場合もご希望に合わせて情報を提供します。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要があると判断する場合は、こども支援センター等専門機関と連携しています。研修は兵庫県からの案内に応じ、参加しています。	利用者さんの利益を最優先に適切な機関と連携していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	週に1回程度、公園で地域の子供達と交流できる機会があります。月に1回休日にひみつきの日を設定し、市内の公園に出かけてもらい、まずはひみつきの友達と地域で遊ぶ事を進めています。	(はい 4、どちらとも 4、いいえ 1、わからない 13) まず通所している子供達が地域の中に出かける事が優先と考えており、健常児に限らずいろんな人と交流する事のハードルを低くしていきたいと考えます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所制作品のコミュニティセンターへの出店や毎月発行のお便りを区内に回覧して、事業所の周知に努めています。	開かれた事業所を目指し職員で力を合わせて今出来る事を進めていきたいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	事前に了承を得られるように説明を行っています。	(はい 21、わからない 1)	今後も理解していただいた上で活動していく為に事前の確認を必ず行います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画前に面談希望調査作、面談を行い、現時点での評価、ニーズの把握と今後の方向性の確認をした後、計画を作成し、説明を行います。必要があれば訂正、加筆を行い、了承の上、サイン、押印いただいています。	(はい 21、わからない 1)	保護者の方と話しやすい関係性を築き、支援について丁寧に分かりやすく説明する事を心掛けます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ご家庭とは違うひみつきちでの様子や対応をお伝えし、お子さんに対しての視野を広げたり、可能性を見出してもらえるように助言しています。	(はい 10、どちらとも 4、わからない 8)	今後もお子さんの可能性を広げられるような情報の提供を保護者の方に出来るように支援していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳や送迎時にその日の様子をお伝えしたり、電話で連絡をさせていただく事もあります。出来る限り多くの職員がご家族と顔見知りとなり、お互い話しやすい間柄を築けるようにしています。	(はい 20、どちらとも 1、わからない 1)	日頃からという所を大切に考え、子ども達の発達にご家族と共に寄り添っていきたく思います。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談は随時行っており、必要があれば助言を行っています。	(はい 13、どちらとも 5、わからない 4)	就労されており、なかなかお会いできないご家庭もありますが、話しやすい関係性を築く事が大切になってくると思います。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	毎年保護者会を開催していますが、昨年度はコロナウイルス感染防止の為中止となりました。ひみつきちの日を設定し、子供を通じて他の保護者の方と顔見知りになって頂きたく企画しました。	(はい 12、どちらとも 5、わからない 5) ・なかなか時間が取れず、開催されても出席が難しいのが現状です。	保護者会という形式に限らず、参加しやすい形で保護者同士の情報交換の場が作ればと思います。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速に対応し、職員間でも周知を徹底しています。保護者全体にお知らせが必要な時には、通信やブログを活用してお伝えしています。	(はい 18、わからない 4)	今後も改善が必要な点については、迅速に対応し、内容についても職員、保護者と周知徹底できるようにします。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者には写真やイラストで情報を伝えたり、好みの遊びや事柄を通じて思いを引き出せるようにしています。保護者へは連絡帳やメール、LINEを活用して細目な連絡を取り合えるようにしています。	(はい 20、どちらとも 1、わからない 1) ・いつも丁寧にありがとうございます。	今後もそれぞれに合わせたより良い意思疎通の方法を探っていきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回の通信で様々なお知らせや日々の様子をブログ、活動の様子を動画配信、長期休みには詳細な活動内容等をお知らせしています。	(はい 20、どちらとも 1) ・いつも楽しく見させてもらっています。とてもわかりやすいです。	1人でも多くの保護者の方に子ども達の成長に興味を持っていただけるように、活動の様子や今後の予定、お知らせ等を分かりやすく楽しい物にできるように工夫していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	ブログ等への写真掲載については、承諾を得た上でも注意をして取り扱いを行っています。個人ファイルに関しては鍵付きのロッカーへ保管しています。	(はい 21、わからない 1)	今後も細心の注意を払い取り扱いを行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは作成し、HPIにて常時公開しています。新しい書式の計画書にはその旨も記載しています。職員に対しても、活動室に掲示したり、送迎の車内にも設置して、緊急時すぐ目にできるようにしています。	(はい 15、どちらとも 2、わからない 5)	緊急時マニュアル確認のお願いを通信にて行いましたが、いざという時にマニュアルの存在を思い出していただけるように、引き続き定期的にマニュアルの周知を行っていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	春休みには消防士さん立ち合いの元、避難訓練を行い、冬休みには施設内で避難訓練を行いました。	(はい 15、どちらとも 2、わからない 5) ・便りの写真で見せて頂いています。	今後も年2回の避難訓練を実施する他、職員間でマニュアルの確認、緊急避難時の通路確認、消火設備の使用方法等の確認を行います。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修としては設けていませんが、支援についての悩みを一人で抱える事がないように個別に話しを聞いて、対応が難しい場合には別の職員に変わる、送迎車など2人になる機会を無くすなどの対応を行っています。		職員が穏やかな気持ちで利用者に関われるように人員の確保やゆとりのあるスケジュールを考えます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束が必要になる利用者は現在ありません。		身体拘束が必要になる状況が発生すると考えられる場合、職員間で十分な協議を行い、保護者へも説明納得をいただいた上でサービス計画に加ええます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの有無などの詳細を個別支援シートで管理、職員間で情報共有しています。		クッキングでいろいろな食材を調理したり、外食もあるので、アレルギーのある利用者に配慮しながらメニュー選択や事前に外食で食べるメニューの精査をします。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が生じた場合は報告書を作成し、職員のミーティングで検討、再発防止に努めています。		今後もヒヤリハットの事例が発生した際には、改善策や再発防止策を職員全員で話し合い、事故が起こらないようにします。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	子供達がひみつきちに行きたい！という気持ちになってくれる事は一番目指している所です。行きたい、誰かに会いたいと思える気持ちが充実した活動時間に繋がると思います。	(はい 21、どちらとも 1) ・いけない日は泣いてしまいます。 ・「ひみつきち」の手話(ネームサイン)がとても上手です。	たくさんの友達と楽しく様々な体験をできるように職員で力を合わせ、サポートを行っていきます。
	2 事業所の支援に満足しているか	現在の居場所というだけでなく、将来の可能性が広げられるように一人一人に今何が必要か考え、支援しています。	(はい 21、どちらとも 1) ・大満足です。	ひみつきちの考えや支援をご理解頂けるように努めていきます。